

コラム

ポリテクカレッジ修了生の活躍事例
・・・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（株）

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（株）（熊本県菊池郡）は、日本国内に8つの生産拠点を有し、世界トップシェアを誇るイメージセンサーを中心とする各種半導体の開発と生産を行っている。このうち宮城県白石市にある白石蔵王テクノロジーセンターでは、Blu-rayレコーダーなどに搭載されている半導体レーザーの開発と生産を行っており、東北ポリテクカレッジの修了生も在籍している。

同社で働く古瀬さんも東北ポリテクカレッジ応用課程の修了生の1人であり、現在、同社の生産技術部門のシステム開発担当として、ネットワークの運用構築からシステム運用に必要な情報の登録まで様々な業務を担当しており、あらゆる方面の知識が必要とされる環境で活躍している。

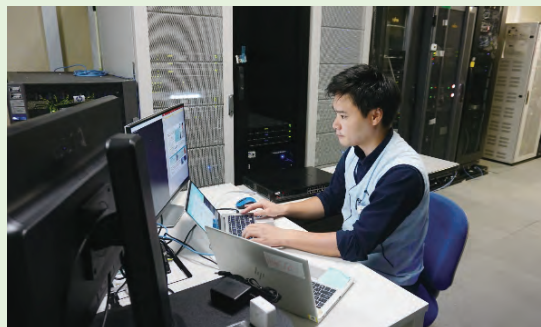


写真：古瀬さん

ポリテクカレッジでの経験について古瀬さんは、「訓練カリキュラムの特徴として、実習が多いため、学んだ知識を技術に昇華させることができる。また、他の科と協力しながら製品の企画開発から制作までを行う「開発課題」を経験することで、コミュニケーション能力や課題解決力も培われた。ここでしか身に付けられないこの実戦力が私の武器となり、就職当時だけでなく今でも私を支え続けている。ポリテクカレッジでの手厚いサポートのおかげで目標としていた会社へ就職することができ、社会人として最高のスタートを切ることができた。」と話す。

古瀬さんの上司である同社の生産技術部門の我妻さんは、古瀬さんについて、「業務の進め方、システム対応等、必要なステップ、考え方、データのまとめ方などがしっかりできており、チームでも自分の役割をきちんと果たして実績を出してくれることから、スムーズに仕事を進めてくれている。入社3年目という若さでありながら、数名のチームリーダーを担っており、課題もタイムリーに相談してくれていて、滞ることなく安心して業務を任せることができている。」と信頼を寄せている。

今後の目標について古瀬さんは、「人に必要とされていると感じることが大変嬉しく、仕事のやりがいになっているので、今後も広い範囲の知識を習得し、社内のいたるところから相談されるような頼られる存在になりたい。」と話している。



写真：業務中の様子